

創傷治癒における CLR_s-CARD9 シグナル伝達の 機能解明に向けて

東北大学大学院医学系研究科 看護アセスメント学分野 菅野 恵美

第 46 回日本創傷治癒学会（会長：真田弘美教授）において、研究奨励賞を賜り感謝の気持ちで一杯です。これも偏に共同研究者の館正弘教授、川上和義教授、丸山良子教授、丹野寛大助教、並びに研究の礎をご指導賜りました渡辺皓名誉教授（山形大学）をはじめとする皆様のおかげであり、御礼申し上げます。

私は看護学の教育に従事する一方、10 年来、創傷の炎症反応に注目した解析を継続しています。これまでに得た基礎的知見をもとに、炎症を制御する薬剤の開発が夢です。

今回注目した C 型レクチン受容体（CLR_s）-CARD9 を介したシグナル伝達は、主に真菌成分を認識する機構として解析が進んでいますが、内因性の DAMPs 認識にも関わることが報告されています。創傷におけるこのシグナル伝達の役割には不明な点が多く、今回、損傷により誘導された CLR_s の一つ Mincle が DAMPs である SAP130 を認識、CARD9、炎症性サイトカイン、マクロファージ集積を介して創傷治癒に関与する可能性を突き止めました。この成果は、正常な炎症を誘導するトリガーとしての DAMPs の使用、または DAMPs 阻害による新規治療法の開発に繋がる可能性を秘めており、臨床応用を目指して解析を進める所存です。

脂肪由来幹細胞と血管付きリンパ節移植の併用療法は マウスの下肢リンパ浮腫を改善させる

長崎大学医学部医歯薬学総合研究科 形成外科学講座 林田 健志
島根大学医学部 皮膚科学講座

研究奨励賞を受賞させて頂きました。誌面をお借りして、指導して頂いた先生方、実験に協力して頂いた先生方に御礼を申し上げます。

私は形成外科医ですので、創傷を持つ患者さん達に、どうにかして手術で治そうという努力を続けてきました。その成果をいくつかの学会で発表するうちに、内容が認められ、他の学会賞を頂くこともありました（第 19 回形成外科手術手技学会優秀賞、第 2 回国際小児創傷治癒学会 Speaker Award など）。そういった経緯で、創傷治癒学という分野が私の主たる研究分野となり、今回の研究を開始する動機となっています。

リンパ浮腫のある患者さんに、一旦、潰瘍が生じると難治となり、蜂窩織炎を繰り返します。そういった難治例に対して、血管付きリンパ節移植



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2017.3
No.98

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

URL: http://www.jswh.com

術は効果的な治療方法の一つとして、近年臨床応用され始めました。しかしながら、その手術の効果が無い症例も多いと報告されています。今回のマウスを用いた手術と脂肪幹細胞の併用療法は、リンパ管の再生を促すことで、うっ滞したリンパ液を効果的にドレナージしました。リンパ浮腫が原因の難

治性潰瘍を治癒させる可能性をもつ研究であると確信しており、今後も本研究を続けていきたいと考えております。

骨髄間葉系前駆細胞 (Fibrocyte) による新規血管新生メカニズムの解明

東邦大学医学部 形成外科学講座 中道 美保

この度は第46回日本創傷治癒学会学術集会上において研究奨励賞という名誉ある賞を頂き、大変光栄に存じております。今までご指導いただいた東邦大学医学部大西 清教授、赤坂喜清教授をはじめとする皆様方のおかげであり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

修復組織の線維化に重要な線維芽細胞はFibrocyte由来とin vitroで証明されましたが、in vivoでの機能は十分解明されていません。本研究では血管増殖刺激因子bFGFによる人為的な血管新生過程でFibrocyteの発現性を検討し、修復組織における血管新生能を解明しました。この修復組織ではbFGFがCD34⁺/procollagen I⁺ fibrocyteを特異的に誘導し、明らかな血管様構造から同細

胞による直接的な血管新生への関与を実証し、線維化が主体とされてきたFibrocyteにおける血管新生能を初めて証明しました。修復組織の癒痕化で血管が消失する過程でアポトーシス発現が想定されてきましたが、我々の知見から血管形成に関与するFibrocyteによるFibroblastへ形質転換が血管消退に関与する新たな概念の提唱に繋がると考えられます。今回の研究奨励賞を励みとし、今後の本学会での活動を通じて本研究をさらに発展させていく所存です。

一般社団法人日本創傷治癒学会 平成29年度

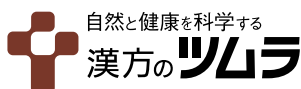
2016年12月10日開催の平成29年度社員総会（評議員会）における決議にて承認された新メンバー3名（*印）を含む以下の評議員67名が、学会のさらなる発展のために尽力することとなりました。

会員の皆様にはますますのご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

赤坂喜清	秋田定伯	秋野公造	*朝戸裕貴	荒牧典子
石田裕子	磯貝典孝	市岡滋	井上聡	井上肇
猪股雅史	大島秀男	大慈弥裕之	大西清	大野真司

*岡崎 悌之	岡部 圭介	小川 郁	小川 令	加藤 広行
菅野 恵美	貴志 和生	北川 雄光	北野 正剛	木山 輝郎
清川 兼輔	楠本 健司	桑野 博行	近藤 稔和	紺家 千津子
雑賀 司珠也	佐藤 道夫	真田 弘美	佐野 仁美	島田 光生
白石 憲男	調 憲	須釜 淳子	鈴木 茂彦	高木 元
高見 佳宏	武田 啓	武田 利明	館 正弘	田中 秀子
田中 里佳	田畑 泰彦	寺師 浩人	土佐 泰祥	仲上 豪二郎
中谷 壽男	中村 哲也	西本 聡	百束 比古	松崎 恭一
松村 一	水野 博司	峰松 健夫	宮澤 光男	宮本 正章
*森 亮一	守永 圭吾	森本 尚樹	吉田 昌	吉村 陽子
四谷 淳子	和田 則仁			(敬称略・五十音順)

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2017年2月制作) PPCAB02-K